資料1

令和7年度 第3回 東北地方整備局事業評価監視委員会　審議案件一覧表（港湾事業：事後評価）

番号	審議区分	県名	港名	事業名	事業評価実施理由	前回評価年度	対象施設	施設規模	変更内容	費用対効果分析の要因の変化								【参考】前回評価には含まれていない定性的効果	対応方針（案）
										全体事業費		事業期間		主な変化要因	主な便益・効果		主な変化要因	費用便益比（B/C）			
										前回	今回 []は前回との差	前回	今回 []は前回との差		前回	今回 []は前回との差		前回	今回 []は前回との差		
1-1	重点	青森県	八戸港	八戸港八太郎・外港地区防波堤整備事業	事業完了後5年以内（R2d）	H29（再評価）	防波堤（北）	700m	－	1,164億円	1,144億円 [-20億円]	45年間 S51～H32	45年間 S51～R2	実績による全体事業費の減少	①輸送コスト削減（コンテナ） 15,400TEU/年 ②輸送コスト削減（バルク） 300万トン/年 ③海難損失回避 7隻	①輸送コスト削減（コンテナ） 7,991TEU/年 [-7,409TEU] ②輸送コスト削減（バルク） 39万トン/年 [-261万トン] ③海難損失回避 7隻	貨物動向を踏まえた見直し	2.0	1.5 [-0.5]	－	事業の目的に対する効果を発現しており、今後の事後評価及び改善措置の必要性はない。
							防波堤（中央）	2,320m	－												
							防波堤（第二中央）	1,470m	－												
							岸壁（水深14m）	280m	－												
							航路・泊地（水深14m）	134ha	－												
							臨港道路	195m	－												
							ふ頭用地	9ha	－												
1-2	要点	福島県	相馬港	相馬港3号ふ頭地区国際物流ターミナル（耐震）整備事業	事業完了後5年以内（R2d）	H29（再評価）	岸壁（水深12m）（耐震）	240m	－	310億円	309億円 [-1億円]	35年間 S61～H32	35年間 S61～R2	実績による全体事業費の減少	①輸送コスト削減（バルク） 43万トン/年 ②震災時輸送コスト増大回避 緊急物資812トン/震災後1ヵ月 バルク162万トン/震災後～24ヵ月 ③海難損失回避 3隻	①輸送コスト削減（バルク） 12万トン/年 [-32万トン] ②震災時輸送コスト増大回避 緊急物資818トン/震災後1ヵ月 [+6トン] バルク24万トン/震災後～24ヵ月 [-138万トン] ③海難損失回避 3隻	貨物動向を踏まえた見直し	2.0	1.5 [-0.5]	発電所立地による地域経済の活性化	事業の目的に対する効果を発現しており、今後の事後評価及び改善措置の必要性はない。
							岸壁（水深10m）	170m	－												
							泊地（水深12m）	18ha	－												
							泊地（水深10m）	22ha	－												
							ふ頭用地	16ha	－												
							臨港道路	1,030m	－												
							護岸	719m	－												
							防波堤（沖）	600m	－												